

2018～2019年度入学生 看護学科 カリキュラム・フロー

必修科目:

選択科目:

看護学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
1. コミュニケーション力 論理的な思考力、記述力、発表と議論の能力を有し、他者と適切なコミュニケーションを取ることができる。	[日本語力]	日本語表現法Ⅰ（作文、論文）（1）	日本語表現法Ⅱ（読解、分析）（1）	日本語表現法Ⅲ（発表、討論）（1）					
	[外国語力]	英語Ⅰ（基礎）（1）	英語Ⅱ（応用）（1）	英語Ⅲ（実践）（1）	英語コミュニケーション（1）	医療英語概論（2）	比較医療文化論（2）	比較医療文化論演習Ⅰ（1）	比較医療文化論演習Ⅱ（1）
	[自己表現、意見交換、調整力]	フレッシュマンセミナー（1）	プロジェクトスキルⅠ（1）	プロジェクトスキルⅡ（1） 日本語表現法Ⅲ（発表、討論）（1）					
2. 課題を発見し、問題を解決する力 必要な情報を収集・整理・分析する能力を有し、現代社会のさまざまな課題に柔軟に対応できる。	[数学・自然科学の基礎的な知識と能力]	基礎数学（1） 基礎物理学（1）	基礎化学（1） 基礎生物学（1）	統計分析法（1）	保健統計学（1） 医療機器論（2）	医療機器論演習（1）			
	[情報リテラシー]	情報処理法（1）	情報管理法（1）		保健統計学（1）	医療情報学（1）			
	[論理的思考力、問題解決力]		日本語表現法Ⅱ（読解、分析）（1） プロジェクトスキルⅠ（1）	プロジェクトスキルⅡ（1）					
	[自己管理能力、自己実現力]	体育実技Ⅰ（1） フレッシュマンセミナー（1）	体育実技Ⅱ（1）		自己管理と社会規範（1）			看護総合ゼミ（2）	
3. 自らを律し、学び続ける力 目標達成のための計画を立案・遂行できる能力を有し、高度情報化社会及び先進医療を支える知識・技術を自主的・継続的に学習できる。	[知的な好奇心]	フレッシュマンセミナー（1）					看護学研究法（2）	看護総合実習（2） 卒業研究（4）	

看護学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
4. 他者と協力して目的を達成する力  文化・社会の多様性を理解できる幅広い教養と豊かな人間性を有し、他分野とも協力して地域社会の発展に貢献できる。	[社会的責任と倫理]				自己管理と社会規範 (1)	看護倫理 (1)	地域活動と社会貢献 (1)		
	[チームワーク、リーダーシップ]	体育実技 I (1) チーム医療論 (1)	体育実技 II (1) プロジェクトスキル I (1)	日本語表現法 III (発表、討論) (1) プロジェクトスキル II (1)		他者理解と信頼関係 (1)			
	[人類の文化、社会と自然、多様性の理解]	人間の理解 I (健康と運動) (2) 社会の理解 I (自然と環境) (2) 基礎数学 (1) 基礎物理学 (1)	人間の理解 II (民族と宗教) (2) 社会の理解 II (政治と経済) (2) 基礎化学 (1) 基礎生物学 (1)	人間の理解 III (歴史と文化) (2) 社会の理解 III (国際と平和) (2)	人間の理解 IV (心理と行動) (2) 社会の理解 IV (法律と人権) (2)				

看護学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力  看護学の専門的知識や技術を活用できる能力を有し、保健医療福祉に関するさまざまな課題に対し、柔軟かつ迅速に対応できる。	[専門基礎力]	解剖生理学Ⅰ(2)	解剖生理学Ⅱ(2)		解剖生理学Ⅲ(2)				
		病理学(2)	病態学(2)		公衆衛生学(2)				
		感染免疫学(1)	薬理学(1)		保健統計学(1)				
		栄養学(1)	疾病治療Ⅰ(2)		疾病治療Ⅱ(2)				
		看護学概論(2)			保健医療福祉論(1)	看護倫理(1)			看護安全管理(1)
		看護学基礎技術論(2)	看護過程演習Ⅰ(1)	看護過程演習Ⅱ(1)					看護における管理と教育(2)
		看護学基礎技術演習Ⅰ(1)	看護学基礎技術演習Ⅱ(1)	看護学基礎技術演習Ⅲ(1)					
			ヘルスアセスメントⅠ(1)	ヘルスアセスメントⅡ(1)					
		チーム医療論(1)		成人看護学概論(1)					救急看護(2)
		医療概論(2)		成人看護学援助論(1)	成人看護学援助論演習Ⅰ(1)	成人看護学援助技術論演習Ⅰ(1)			慢性期疾患看護(2)
				老年看護学概論(1)		成人看護学援助論演習Ⅱ(1)	成人看護学援助技術論演習Ⅱ(1)	成人看護学援助技術論演習Ⅱ(1)	リハビリテーション看護(2)
				老年看護学援助論(1)	老年看護学援助論演習(1)	老年看護学援助技術論演習(1)			終末期看護(1)
				小児看護学概論(1)					
				小児看護学援助論(1)	小児看護学援助論演習(1)	小児看護学援助技術論演習(1)			乳幼児疾患と看護(2)
				母性看護学概論(1)					
				母性看護学援助論(1)	母性看護学援助論演習(1)	母性看護学援助技術論演習(1)			
				精神看護学概論(1)					ストレスとメンタルヘルス(2)
				精神看護学援助論(1)	精神看護学援助論演習(1)	精神看護学援助技術論演習(1)			
					在宅看護学概論(1)				健康管理と看護(2)
					在宅看護学援助論(1)	在宅看護学援助論演習(1)		在宅看護学援助技術論演習(1)	家族看護論(2)

看護学科DP	評価の観点	1年次		2年次		3年次		4年次	
		前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
5. 専門的知識・技能を習得し、実践する力  看護学の専門的知識や技術を活用できる能力を有し、保健医療福祉に関するさまざまな課題に対し、柔軟かつ迅速に対応できる。	[専門応用力]		基礎看護学実習Ⅰ（１）	基礎看護学実習Ⅱ（２）		医療情報学（１）	成人看護学実習Ⅰ（３） 老年看護学実習Ⅱ（３） 小児看護学実習（２） 母性看護学実習（２） 精神看護学実習（２）	成人看護学実習Ⅱ（３）    在宅看護学実習（２）	
6. 総合力  修得した基盤能力と看護学の専門的知識・技術を総合的に活用し、地域社会の課題を発見・解決し社会の発展に貢献することができる。							看護学研究法（２）	看護総合実習（２） 卒業研究（４） 看護総合ゼミ（２）	